

四街道市鹿渡小名木調整池周辺の鳥類

Birds of Shikawatashi and Konagi in Yotsukaido City, Chiba prefecture.

原田 茂
Shigeru Harada

キーワード: 里山, サシバ, サンコウチョウ, カモ類, 塵捨場

はじめに

四街道市は千葉県の北西部と北東部の間にあり、県の中央よりやや北に位置する(35°39'N, 140°10'E)。面積は35平方km、人口は約8万2千人の小さな市である(四街道市政だより No.537, 1997年)。筆者が観察を始めた1970年代は、人口も現在の半数以下のどかな田園小都市といった情景であった。四街道市は千葉市に隣接した市であり、宅地開発がすすみ、1980年以降人口が急増してその自然環境は急速に破壊されつつある。また、その北には佐倉市、成田市が位置し、印旛沼が広がり、東京に近い浦安市、市川市、習志野市などに比べ緑地が多かった(千葉県都市部1993)。現状は所謂、都市近郊の諸問題が助長されつつある環境条件を備えた地域であるといえ、宅地開発などが更に進んでいる。

調査地

四街道市内では1995年3月までに飼鳥5種を含む131種が記録されている(原田ら1995)。その調査地の中で1988年から鹿渡地区、1990年から小名木調整池の2地点の観察を続けている。鹿渡地区は古くから四街道の中心地であり、今も北半部には市役所などの公共機関やJR四街道駅が存在し、片や南半部には住宅地が造成されその東端に印旛沼に注ぐ鹿島川の支流小名木川が流れている。この小名木川の流域は所謂、谷津田を形

成しており今も稲作が営まれている。また、その水田の両側は里山として辛うじて昔の面影を残している。そしてこの環境にはまだ四季を通して様々な鳥類が飛来し、あるいは、通過している。しかしながら、そこにも自然破壊の波は確実に押し寄せて来ている。更に鹿渡を遡った小名木川の上流は1987年以降、バブル崩壊にも屈せず延々と、そして無意味にも完全に宅地に造成されてしまった。その造成地の下流側、鹿渡地区に隣接して1990年に造られたのが小名木調整池である。たまたま市内には大きな開水面がなく、僅か2.6haの小さな調整池ではあるが、数少ない水鳥類の憩いの場所となっている。ただ此処も背後の広大な造成地には建てられた住宅が未だ疎らなために、調整池の排水ポンプの運転時間を短縮している等、貯水状況に色々と変化が続いており、まだ鳥類の安住の場所にまでは至っていないのが現状である。以上の2地点を移り変わりつつある四街道市の環境代表として引き続き調査を続けている。本報告書では1995年～1996年の2年間の調査結果を報告する。

調査方法

鹿渡地区の向柳作および鹿渡地先を月に3回以上を原則として調査し、観察された種を月別に表1～3にまとめた。ただし、この地域では個体数のカウントはしていない。表1に1995年1月～12月の月別観察記録を、表2に1996年1月～12月の月別

観察記録を、表3に1995年1月～1996年12月の2年間月別観察記録をまとめた。

小名木調整池も月に3回以上を原則として調査した。調整池の棚内で観察された種別の個体数をカウントして月毎の最大カウント数値をまとめた。ただし、この記録には上空通過する個体も含んでいる。又、小名木池の調査は、当初コチドリの越冬状況観察が主目的で始めたため、記録も冬を中心にまとめていた。その経過から上記の鹿渡地区とは若干の調査期間に差が生じたままになっている。表4に1994年10月～1995年9月の月別観察記録を、表5に1995年10月～1996年9月の月別観察記録を、表6に1994年10月～1996年9月の2年間の最大カウント数値を種別にまとめた。

結果

1. 鹿渡地区

表1では年間観察種数57種、表2では59種、表3の2年間でも64種と1994年度の観察種数65種をそれぞれ下回った。留鳥20種、夏鳥3種、その他41種、合計64種。秋の渡りのムシクイ類およびヒタキ類が減少し、通過する冬鳥のアリスイ、トラツグミ、マミチャジナイ、クロジ等が見られなかった。マヒワ、ウソは1995年には見られなかったが、1996年にはよく観察された。1996年4月30日上空を通過するユリカモメが観察された。

そのほか個体数の変化も見られた。コジュケイ、キジ、ウグイス、ホオジロ等は前回調査に引き続き個体数が減少した。さらにアオジ、カシラダカ、ビンズイ、ルリビタキにシロハラ、アカハラなどの大型ツグミ類まで個体数が減少してきた。一方、個体数の増加が見られた種もあった。ヤマガラはこの地区では年に1～2度、1～2羽を観察するのが普通であった（原田ら1995）。1995年以降、次第に個体数を増やし1996年の秋には、地区を調査する度、必ず記録されるようになり、1996年10月3日には一回の調査で12羽観察された。カケスは例年秋になると飛来するが、1996年の秋は個体数が増えた。10月6日、10日、15日の3日間、それぞれ早朝一時間半の観察で計87羽の個体数が上空通過した。

ワシ・タカ類も種、個体数とも減少しているが、サシバはまだ毎年7・8月になると1～2羽の

幼鳥が観察されている。

2. 小名木調整池

表4の12ヶ月間の記録は37種で前年度より1種増えただけで、ほぼ安定していた。1996年6月より調整池の拡張工事が実施され9月からは調整池全体が満水になるような運転条件に変化し、以降池に干潟状の箇所が出来ることが無くなった。その結果、1995年10月頃からシギ・チドリ類が激減した。稀に池の岸辺でクサシギ・コチドリ・タシギなどが観察される程度になった。カモ類ではホシハジロやキンクロハジロが越冬する様になり、バン、カイツブリが繁殖を始めた。コアジサシも採食に飛来するようになった。その結果、表5に示すように、この12ヶ月間では42種の鳥類が観察された。調整池の運転条件変更の原因は開発造成地の住宅が少ないので運転経費を節約するために取られた処置と聞いている。カワウは1994年10月にはじめて飛来、以降ほとんど常時見られるようになった。繁殖期直後には個体数が増え10羽を越える。夕方飛び去る方向は南西～北西である。

考察

四街道市内の鳥類の特徴は所謂、都市近郊型の鳥類相を示していると言える（原田ら1995）。四街道市は千葉市という大都市の近郊都市として位置づけられるが、またその宿命として残された自然環境が次第に破壊されつつある事も事実である。筆者の記憶では、移り住んだ1974年頃の鹿渡の森には野生のニホンリスが生息しており、林床には数多くのアオジなどが見られたが、その昔に戻る術はない。このような自然環境の中でそこに住み、あるいは通過する鳥類も変化していくのも止むを得ない現象かも知れない。通過するムシクイ類やヒタキ類が減少し、アリスイ、トラツグミ、マミチャジナイ、クロジ等が見られなくなり、また、コジュケイ、キジ、ウグイス、ホオジロ等の種が個体数を減らしていくのは、その現れである。さらに今回の調査ではアオジ、カシラダカ、ビンズイ、ルリビタキ、大型ツグミ類までが、個体数を減少させた事が特徴として把握できたと考えられる。

鹿渡地先のような谷津田と里山が水田と保存

林として残された地域は市内にも数箇所ある。1990年頃からの傾向であるが、どこも同じように農道などが整備されると何故かその農道の林側の林床は塵捨場になっていく。最初は建築廃材、古道具や自転車などの粗大塵が廃棄されていたが、近年では家庭生活から出る古着雑誌や燃えない塵の廃棄が増えてきている。この里山は一見外からは自然がよく残された環境に見えるが、ひとたび雑木林の中を歩いてみれば、そこは正に現代社会のごみ捨て場となっていると言えよう。これは林床型の鳥類の個体数が減少していく一つの大きな要因になっている。

このような環境汚染に手を貸した人々の心無い行為を非難し阻止したり、あるいは捨てられた塵を黙々と拾っているだけでは根本的な解決にはならない。問題は膨大な余剰塵が発生するのが当然のような現在の消費社会システムにある。ありあまる程生産し流通をし、その何割かが消費されることに依って供給側は採算がとれるように仕組まれている。一方需要側も浪費を美德とする仕組みに慣らされ物を捨てる事への罪悪感が薄れてしまっている。その結果が雑木林の中の塵になっていると断言したい。自然破壊は開発だけではない。現代の消費社会システムを根本的に変えない限り、この鹿渡の林床に鳥類が戻って来ることは無い。

幸いな事に林床型に対し樹木型の鳥はまだ残っている。サシバの繁殖も続いており、サンコウチョウも短期ではあるが飛来する。ただ、林床に対して樹木は汚染の進み方が遅いだけと言う事も留意しておかねばならない。

1996年度から鹿渡地区内の小名木川改修工事が開始され1997年以降も継続される。工事の影響は今のところカワセミなどの水鳥の出が少なくなった位だが、全体工事完成後の環境変化も確認しておきたい。

小名木調整池は市内でも数少ない水鳥の生息場所になっているが、周辺の広大な造成地はまだ空き地の方が多く環境が落ち着いていない。また、それに伴って調整池の運転条件も変わり、鳥相に影響を与えている。1990年末よりシギ、チドリ類の越冬地となっていたが、その越冬も見られなくなった。現在では調査の継続は無意味になったかも知れない。しかし、宅地開発と言う一つの大きな開発事業が終わった後

に、果たして鳥類にとって、どのような環境が残されて行くのかと言った事を見極める意味で、今しばらく観察は続ける必要がある。

要 約

移り変わりつつある四街道市の環境代表として、鹿渡地区と小名木調整池の二箇所を1995年～1996年の2年間引き続き調査した。今回の調査で四街道として新たに観察された種はユリカモメのみである。自然破壊・環境汚染が依然として進行しており、徐々にではあるが、鳥類もその種数、個体数を減少させている。鹿渡地区ではこの2年間に64種を観察した。小名木調整池ではこの2年間に46種を観察した。大開発事業の結果として作られた小名木調整池ではあるが、その維持管理面から所謂定常運転に至っておらず、干潟になったり、満水になったりして水鳥たちの安住の池にはならなかった。両地区の調査は今後とも続けモニターしていく必要がある。

謝 辞

本稿を校閲していただいた我孫子市鳥の博物館の時田賢一氏、原稿の入力をしていただいた千葉県立中央博物館の加藤典子の両氏に感謝の意を表します。

引 用 文 献

- 青木正志・和仁道大・原田 茂. 1992. 船田池周辺・青葉の森・千城台野鳥観察園の鳥類調査. 平成3年度標本資料収集動物・植物標本目録: 44-47. 千葉県自然誌資料調査会.
- 千葉県都市部公園緑地課. 1993. 平成5年度事業概要, 76pp. 千葉県. 千葉.
- 原田 茂・桑原和之・鈴木 明・小倉正一. 1995. 千葉県四街道市鳥類目録. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告4: 5-42.
- 桑原和之・和仁道大・木幡冬樹・原田 茂・落合加代子. 1994. 千葉市に生息する鳥類Ⅱ. 千葉市自然環境調査会(編): 千葉・野生・生態報告Ⅱ: 175-220.
- 桑原和之・和仁道大・木幡冬樹・鈴木 明・青木正志・落合加代子. 1994. 千葉県立中央博物館鳥類目録千中博研報特別号1: 213-32.
- 小倉正一. 1990. 四街道市文化財16: 3-13.
- 四街道市役所. 市政だより No.537, 1997.1.1号, 12pp. 人口と世帯数.

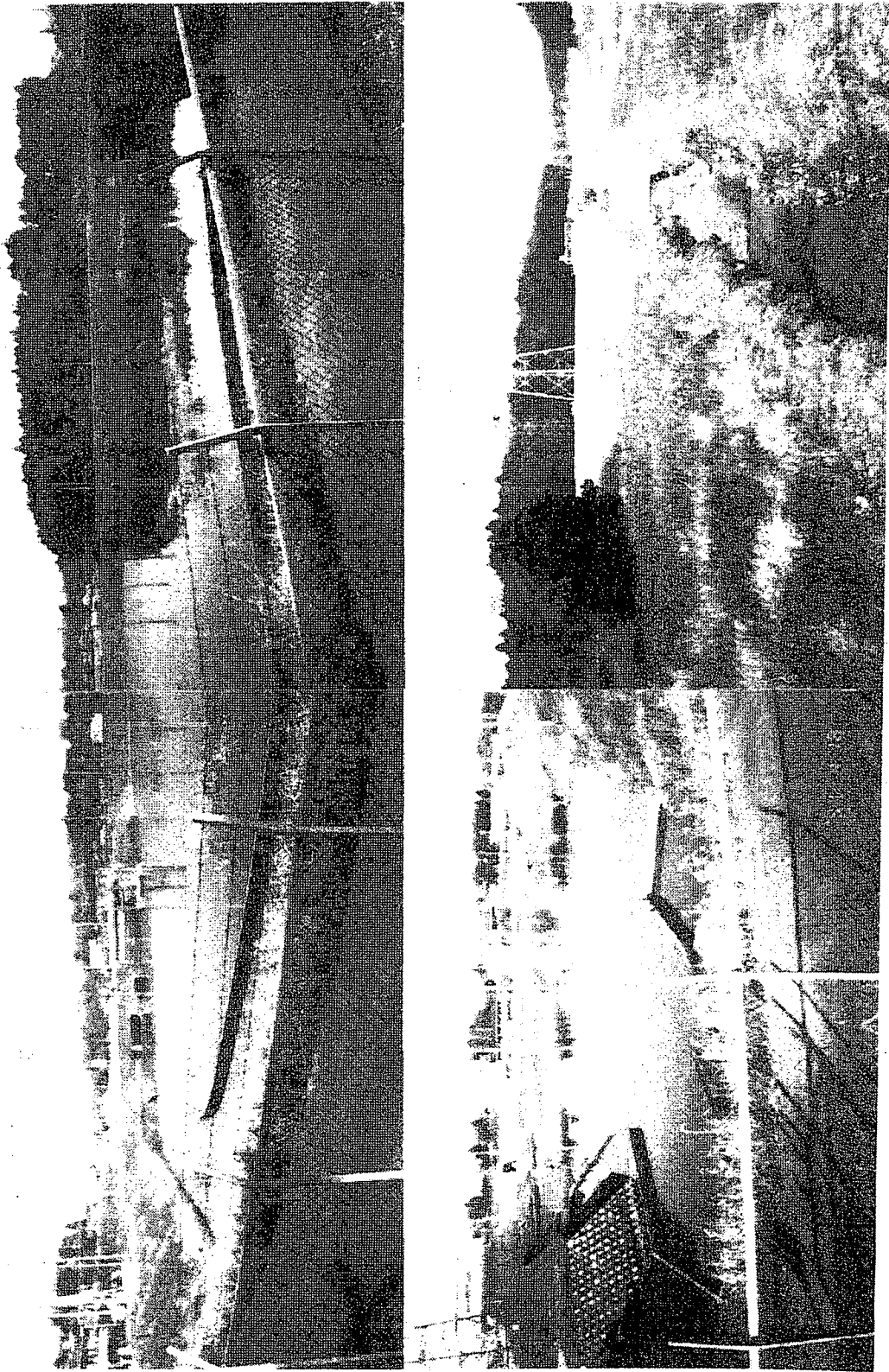


図1. 調査地 (1997年1月18日)
小名木調整池 (上および下左)、鹿渡の森と小名木川 (下右)

表1 四街道市鹿渡地区 野鳥観察記録(1995年1月~12月)

No.	種名	[月別の出現を●で示した.]												観察記録・その他
		1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
1	カワウ	●	●			●				●				上空通過 小名木池へ
2	ゴイサギ	●	●		●	●	●	●	●	●	●			
3	アマサギ													
4	ダイサギ			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
5	チュウサギ					●	●	●	●	●	●	●	●	
6	コサギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
7	アオサギ									●				上空通過 小名木池へ
8	カルガモ				●	●	●	●						小名木川流域
9	コガモ	●	●	●	●						●	●	●	小名木川流域
10	オオタカ													
11	サシバ				●	●	●	●	●	●				7、8月に幼鳥2羽観察
12	ハヤブサ													
13	チョウゲンボウ				●					●				
14	コジュケイ				●	●	●	●	●	●	●	●	●	
15	キジ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
16	ヒクイナ													
17	コチドリ			●	●		●							
18	キアシシギ								●					
19	イソシギ									●				
20	チュウシャクシギ					●								5/3 1羽上空通過
21	タシギ	●			●								●	
22	キジバト	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
23	ツツドリ													
24	ホトトギス						●	●						
25	アオバズク					●	●							
26	フクロウ													
27	アマツバメ													
28	カワセミ	●		●			●	●	●	●	●	●	●	
29	アリスイ													
30	コゲラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
31	ヒバリ			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
32	ツバメ													
33	イワツバメ													
34	キセキレイ		●		●	●						●	●	
35	ハクセキレイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
36	セグロセキレイ	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	
37	ビンズイ	●	●	●										終認3/2,初認11/25
38	タヒバリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	終認4/4,初認11/6
39	ヒヨドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
40	モズ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
41	ミンサザイ													
42	ルリビタキ	●	●	●									●	終認3/14,初認12/23
43	ジョウビタキ	●	●								●	●	●	終認2/25,初認10/28
44	ノビタキ													地区内初観察9/5/9/29
45	トラツグミ													
46	アカハラ				●	●								終認5/3,初認11/12
47	シロハラ	●	●	●	●								●	終認4/4,初認12/23
48	マミチヤジナイ													
49	ツグミ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	終認5/3,初認11/5
50	ウグイス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	例年9月の記録がない
51	オオヨシキリ				●	●	●	●	●					
52	メボソムシクイ													
53	センダイムシクイ													
54	キクイタダキ	●	●	●										
55	セツカ				●	●	●	●	●				●	
56	キビタキ													
57	オオルリ													
58	サメビタキ													
59	エンビタキ													
60	コサメビタキ													
61	サンコウチョウ					●								5/18不動尊堂裏山早囀り
62	エナガ	●	●	●	●	●				●	●	●		
63	ヤマガラ	●	●	●	●	●								
64	シジュウカラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
65	メジロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
66	ホオジロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
67	カシラダカ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
68	アオジ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
69	クロジ				●	●	●	●	●	●	●	●	●	
70	アトリ													
71	カワラヒワ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
72	マヒワ													
73	シメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
74	スズメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	終認5/20,初認11/23
75	ムクドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
76	カケス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
77	オナガ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
78	ハシボソガラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
79	ハシブトガラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	合計	35	33	34	36	40	30	31	29	28	32	35	36	延 57種
	調査回数	3	3	4	4	6	3	4	3	4	5	3	3	合計45回

註: 四街道市鹿渡地区の柳作及び地先地区を主に、月3回以上を原則として観察した。

従って初認、終認はその観察回数の限度内での記録である。

1995年度の観察延べ種数は前年度(65種)より少なかった。

表2 四街道市鹿渡地区 野鳥観察記録 (1996年1月~12月)

No.	種名	【月別の出現を●で示した。】												観察記録・その他
		1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
1	カワウ				●	●	●				●	●	●	上空通過 小名木池へ
2	ゴイサギ		●	●				●						
3	アマサギ					●	●							
4	ダイサギ	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●		
5	チュウサギ					●	●	●	●	●	●	●		
6	コサギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
7	アオサギ					●	●				●	●		上空通過 小名木池へ
8	マガモ					●								5/26水田に1羽
9	カルガモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●				小名木川流域
10	コガモ	●	●	●	●									小名木川流域
11	オオタカ													
12	サシバ				●	●	●	●	●	●	●			7,8月に幼鳥1羽を観察
13	ハヤブサ													
14	チョウゲンボウ					●	●			●	●	●		
15	コジュケイ			●	●	●	●	●	●	●	●	●		
16	キジ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
17	ヒクイナ													
18	コチドリ						●							
19	キアシシギ													
20	イソシギ													
21	チュウシャクシギ				●									
22	タシギ	●	●	●	●									
23	ユリカモメ				●	●								4/30北東へ7羽上空通過
24	キジバト	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
25	ツツドリ					●	●							
26	ホトトギス					●	●							
27	アオバズク					●	●							
28	フクロウ			●										
29	アマツバメ													
30	カワセミ	●	●			●			●	●	●			
31	アリスイ													
32	コゲラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
33	ヒバリ	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●		
34	ツバメ				●	●	●	●	●	●	●	●		
35	イワツバメ													
36	キセキレイ										●	●		
37	ハクセキレイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
38	セグロセキレイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
39	ビンズイ			●	●								●	終認3/26, 初認12/21
40	タヒバリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	終認4/23, 初認11/4
41	ヒヨドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
42	モズ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
43	ミンサザイ													
44	ルリビタキ	●	●	●									●	終認3/31, 初認12/3
45	ジョウビタキ	●	●	●							●	●		終認3/16, 初認10/22
46	ノビタキ													
47	トラツグミ													
48	アカハラ	●	●	●	●	●						●	●	終認5/12, 初認11/10
49	シロハラ	●	●	●	●							●	●	終認4/25, 初認11/4
50	マミチャジナイ										●			
51	ツグミ	●	●	●	●	●					●	●	●	終認5/12, 初認11/3
52	ウグイス	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	例年9月に記録がない
53	オオヨシキリ					●	●		●					
54	メボソムシクイ													
55	センダイムシクイ													
56	クキイタダキ													
57	セツカ				●	●	●	●						
58	キビタキ													
59	オオルリ													
60	サメビタキ													
61	エゾビタキ													
62	コサメビタキ													
63	サンコウチョウ													
64	エナガ	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	
65	ヤマガラ	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	今秋増加10/3に12羽
66	シジュウカラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
67	メジロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
68	ホオジロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
69	カシラダカ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
70	アオジ	●	●	●	●	●								
71	クロジ													
72	アトリ													
73	カワラヒワ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
74	マヒワ													
75	ウソ													
76	シメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	終認4/30, 初認10/21
77	スズメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
78	ムクドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
79	カケス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10/6, 10.15で87羽通過
80	オナガ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
81	ハシボソガラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
82	ハシブトガラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	合計	36	35	37	40	37	34	31	28	25	35	35	36	延 59種
	調査回数	3	3	4	4	6	3	4	3	4	5	3	3	合計 46回

註：四街道市鹿渡地区の柳作及び地先地区を主に、月3回以上を原則として観察した。
 従って初認、終認はその観察回数の限度内での記録である。
 1996年度の観察延べ種数は前年度(57種)より多かったが、前々年度(65種)よりは少なかった。

表3 四街道市鹿渡地区 野鳥観察記録 (1995年1月~1996年12月)

〔2年間の月別の出現を●で示した〕

No.	種名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	観察記録・その他
1	カワウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	上空通過 小名木池へ
2	ゴイサギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
3	アマサギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
4	ダイサギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
5	チュウサギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
6	コサギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
7	アオサギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
8	マガモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
9	カルガモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
10	コガモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
11	オオタカ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
12	サシバ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
13	ハヤブサ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
14	チョウゲンボウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
15	コジュケイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
16	キジ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
17	ヒクイナ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
18	コチドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
19	キアシシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
20	イソシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
21	チュウシャクシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
22	タシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
23	ユリカモメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
24	キジバト	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
25	ツツドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
26	ホトトギス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
27	アオバズク	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
28	フクロウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
29	アマツバメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
30	カワセミ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
31	アリスイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
32	コゲラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
33	ヒバリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
34	ツバメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
35	イワツバメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
36	キセキレイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
37	ハクセキレイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
38	セグロセキレイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
39	ビンズイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
40	タヒバリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
41	ヒヨドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
42	モズ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
43	ミンサザイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
44	ルリビタキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
45	ジョウビタキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
46	ノビタキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
47	トラツグミ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
48	アカハラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
49	シロハラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
50	マミチャジナイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
51	ツグミ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
52	ウグイス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
53	オオヨシキリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
54	メボソムシクイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
55	センダイムシクイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
56	キクイタダキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
57	セツカ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
58	キビタキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
59	オオルリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
60	サメビタキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
61	エゾビタキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
62	コサメビタキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
63	サンコウチョウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
64	エナガ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
65	ヤマガラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
66	シジュウカラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
67	メジロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
68	ホオジロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
69	カシラダカ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
70	アオジ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
71	クロジ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
72	アトリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
73	カワラヒワ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
74	マヒワ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
75	ウソ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
76	シメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
77	スズメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
78	ムクドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
79	カケス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
80	オナガ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
81	ハシボソガラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
82	ハシブトガラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
合計		36	35	37	40	37	34	31	28	25	35	35	36	・ 延 64種
調査回数		3	3	4	4	6	3	4	3	4	5	3	3	合計91回

註：四街道市鹿渡地区の柳作及び地先地区を主に、月3回以上を原則として観察した。
 年度別の延べ種数は1995年度：57種、1996年度：59種で前年度1994年（65種）に比して減少した。

表4 四街道市小名木調整池・野鳥観察記録 (1994年10月～1995年9月)

種名	1994年			1995年									最大数
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
カイツブリ	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
カワウ	1	2	6	8	4	5	6	14	4	1	—	—	14
ゴイサギ	4	4	18	19	12	4	—	18	11	16	10	15	19
ダイサギ	1	2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	2	2
チュウサギ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	4	4
コサギ	4	3	3	1	2	1	3	1	—	3	6	8	8
アオサギ	1	1	1	1	1	2	1	1	3	2	1	4	4
マガモ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
カルガモ	20	6	22	28	15	12	4	5	16	38	33	33	38
コガモ	7	32	22	58	82	85	57	58	—	—	—	12	85
ハシビロガモ	—	4	7	6	8	8	5	—	—	—	—	—	8
ホシハジロ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
キンクロハジロ	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
ハヤブサ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
チョウゲンボウ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
キジ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
バン	—	—	—	—	—	—	3	4	2	5	18	17	18
コチドリ	2	3	—	—	—	1	2	2	10	11	20	7	20
クサシギ	—	4	—	—	2	2	2	—	—	6	10	4	10
キアシシギ	—	—	—	—	—	—	—	1	—	2	4	1	4
イソシギ	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	1
タシギ	—	1	1	1	2	1	—	—	—	—	—	—	2
キジバト	2	1	2	2	1	2	2	1	3	3	2	3	3
カワセミ	2	3	2	2	2	2	2	1	1	2	2	1	3
ヒバリ	2	1	—	—	—	1	1	2	2	3	—	1	3
ツバメ	—	—	—	—	—	—	4	6	12	8	8	5	12
イワツバメ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	10
キセキレイ	—	2	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	2
ハクセキレイ	5	6	10	5	6	6	5	4	10	12	18	13	18
セグロセキレイ	4	4	1	—	—	1	—	1	1	2	2	2	4
タヒバリ	—	2	1	1	2	3	2	—	—	—	—	—	3
ヒヨドリ	—	—	—	—	—	—	—	2	2	2	1	—	2
モズ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ツグミ	—	1	1	2	3	2	2	1	—	—	—	—	3
オオヨシキリ	—	—	—	—	—	—	—	1	1	2	—	—	2
セッカ	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	—	1
メジロ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3
カワラヒワ	8	20	36	40	10	2	3	1	—	1	—	—	40
スズメ	40	60	20	10	15	15	20	20	30	30	40	50	60
ムクドリ	—	3	25	3	8	7	6	5	8	10	5	40	40
ハシボソガラス	10	2	2	3	3	4	1	2	3	3	3	2	10
ハシブトガラス	20	2	—	1	1	1	—	2	2	4	1	—	20
ドバト	13	—	4	2	6	2	4	6	5	38	6	20	38
調査回数	5	7	3	5	5	4	6	7	6	7	5	5	65
合計種数	18	24	21	20	21	24	23	27	22	26	22	24	37

註：月3回以上を原則として観察し、調整池の棚内（上空を含む）で見られた種別の個体数をカウントした。

上表は月ごとの最大カウント数値を示す。1年間の観察種数37種は前1年間の36種より増えた。

表3 四街道市鹿渡地区 野鳥観察記録 (1995年1月~1996年12月)

No.	種名	〔2年間の月別の出現を●で示した〕												観察記録・その他	
		1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
1	カワウ														上空通過 小名木池へ
2	ゴイサギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
3	アマサギ					●	●	●	●	●	●	●	●	●	
4	ダイサギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
5	チュウサギ				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
6	コサギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
7	アオサギ				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	上空通過 小名木池へ
8	マガモ				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1996年5/26水田に1羽
9	カルガモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	小名木川流域
10	コガモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	小名木川流域
11	オオタカ														
12	サシバ				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
13	ハヤブサ														
14	チョウゲンボウ				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
15	コジュケイ				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
16	キジ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
17	ヒクイナ														
18	コチドリ			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
19	キアシシギ								●	●	●	●	●	●	
20	イソシギ									●	●	●	●	●	
21	チュウシャクシギ				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
22	タシギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
23	ユリカモメ				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1996年4/30 上空通過7羽
24	キジバト	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
25	ツツドリ														
26	ホトトギス					●	●	●	●	●	●	●	●	●	
27	アオバズク					●	●	●	●	●	●	●	●	●	
28	フクロウ			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
29	アマツバメ														
30	カワセミ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
31	アリスイ														
32	コゲラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
33	ヒバリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
34	ツバメ				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
35	イワツバメ														
36	キセキレイ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
37	ハクセキレイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
38	セグロセキレイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
39	ビンズイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
40	タヒバリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
41	ヒヨドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
42	モズ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
43	ミンソサザイ														
44	ルリビタキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
45	ジョウビタキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
46	ノビタキ														
47	トラツグミ									●	●	●	●	●	
48	アカハラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
49	シロハラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
50	マミチャジナイ										●	●	●	●	
51	ツグミ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
52	ウグイス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	例年9月に記録がない
53	オオヨシキリ				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
54	メボソムシクイ														
55	センダイムシクイ														
56	キクイタダキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
57	セッカ				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
58	キビタキ														
59	オオルリ														
60	サメビタキ														
61	エゾビタキ														
62	コサメビタキ														
63	サンコウチョウ					●	●	●	●	●	●	●	●	●	
64	エナガ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
65	ヤマガラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1996年秋増加10/3に12羽
66	シジュウカラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
67	メジロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
68	ホオジロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
69	カシラダカ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
70	アオジ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
71	クロジ														
72	アトリ														
73	カワラヒワ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
74	マヒワ														
75	ワソ														1996年冬
76	シメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1996年冬
77	スズメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
78	ムクドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
79	カケス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
80	オナガ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1996年秋飛来数増
81	ハシボソガラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
82	ハシブトガラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	合計	36	35	37	40	37	34	31	28	25	35	35	36		延 64種
	調査回数	3	3	4	4	6	3	4	3	4	5	3	3		合計91回

註：四街道市鹿渡地区の柳作及び地先地区を主に、月3回以上を原則として観察した。
 年度別の延べ種数は1995年度：57種、1996年度：59種で前年度1994年（65種）に比して減少した。

表4 四街道市小名木調整池・野鳥観察記録 (1994年10月～1995年9月)

種名	1994年			1995年									最大数
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
カイツブリ	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
カワウ	1	2	6	8	4	5	6	14	4	1	—	—	14
ゴイサギ	4	4	18	19	12	4	—	18	11	16	10	15	19
ダイサギ	1	2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	2	2
チュウサギ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	4	4
コサギ	4	3	3	1	2	1	3	1	—	3	6	8	8
アオサギ	1	1	1	1	1	2	1	1	3	2	1	4	4
マガモ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
カルガモ	20	6	22	28	15	12	4	5	16	38	33	33	38
コガモ	7	32	22	58	82	85	57	58	—	—	—	12	85
ハシビロガモ	—	4	7	6	8	8	5	—	—	—	—	—	8
ホシハジロ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
キンクロハジロ	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
ハヤブサ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
チョウゲンボウ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
キジ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
バン	—	—	—	—	—	—	3	4	2	5	18	17	18
コチドリ	2	3	—	—	—	1	2	2	10	11	20	7	20
クサシギ	—	4	—	—	2	2	2	—	—	6	10	4	10
キアシシギ	—	—	—	—	—	—	—	1	—	2	4	1	4
イソシギ	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	1
タシギ	—	1	1	1	2	1	—	—	—	—	—	—	2
キジバト	2	1	2	2	1	2	2	1	3	3	2	3	3
カワセミ	2	3	2	2	2	2	2	1	1	2	2	1	3
ヒバリ	2	1	—	—	—	1	1	2	2	3	—	1	3
ツバメ	—	—	—	—	—	—	4	6	12	8	8	5	12
イワツバメ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	10
キセキレイ	—	2	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	2
ハクセキレイ	5	6	10	5	6	6	5	4	10	12	18	13	18
セグロセキレイ	4	4	1	—	—	1	—	1	1	2	2	2	4
タヒバリ	—	2	1	1	2	3	2	—	—	—	—	—	3
ヒヨドリ	—	—	—	—	—	—	—	2	2	2	1	—	2
モズ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ツグミ	—	1	1	2	3	2	2	1	—	—	—	—	3
オオヨシキリ	—	—	—	—	—	—	—	1	1	2	—	—	2
セッカ	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	—	1
メジロ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3
カワラヒワ	8	20	36	40	10	2	3	1	—	1	—	—	40
スズメ	40	60	20	10	15	15	20	20	30	30	40	50	60
ムクドリ	—	3	25	3	8	7	6	5	8	10	5	40	40
ハシボソガラス	10	2	2	3	3	4	1	2	3	3	3	2	10
ハシブトガラス	20	2	—	1	1	1	—	2	2	4	1	—	20
ドバト	13	—	4	2	6	2	4	6	5	38	6	20	38
調査回数	5	7	3	5	5	4	6	7	6	7	5	5	65
合計種数	18	24	21	20	21	24	23	27	22	26	22	24	37

註：月3回以上を原則として観察し、調整池の棚内（上空を含む）で見られた種別の個体数をカウントした。

上表は月ごとの最大カウント数値を示す。1年間の観察種数37種は前1年間の36種より増えた。

表5 四街道市小名木調整池・野鳥観察記録 (1995年10月～1996年9月)

種名	1995年			1996年									最大数
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
カイツブリ	—	1	3	1	1	1	2	1	7	7	11	6	11
カワウ	1	4	3	2	3	9	11	6	1	3	—	2	11
ゴイサギ	5	3	1	—	—	—	10	5	4	12	8	6	12
ササゴイ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1
ダイサギ	1	1	1	—	1	1	1	2	—	2	2	1	2
チュウサギ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	5	4	5
コサギ	3	2	2	1	3	5	2	—	—	7	3	4	7
アオサギ	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2
マガモ	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
カルガモ	42	25	20	16	25	27	28	12	19	19	17	20	42
コガモ	85	62	26	98	67	60	36	10	—	—	—	—	98
ハシビロガモ	3	10	8	7	7	6	4	—	—	—	—	—	10
ホシハジロ	—	2	3	5	4	4	1	—	—	—	—	—	5
キンクロハジロ	3	3	4	6	14	12	14	6	1	—	—	—	14
ハヤブサ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
チョウゲンボウ	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
キジ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
バン	4	5	3	2	3	3	6	5	7	13	8	5	13
コチドリ	2	—	—	—	—	—	1	—	1	1	—	—	2
クサシギ	2	1	—	1	1	1	1	1	—	—	—	1	2
キアシシギ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
イソシギ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
タシギ	1	—	1	1	1	1	1	—	—	—	—	—	1
コアジサシ	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	2
キジバト	3	3	2	2	1	1	1	2	2	2	4	3	4
カワセミ	1	1	—	—	1	2	1	1	2	2	2	2	2
コゲラ	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	1
ヒバリ	—	—	—	1	2	1	1	2	1	5	—	—	5
ツバメ	—	—	—	—	—	1	8	10	10	7	20	2	20
イワツバメ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
キセキレイ	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
ハクセキレイ	8	10	7	5	4	6	4	3	3	2	6	4	10
セグロセキレイ	1	2	1	—	1	1	2	—	4	—	1	2	4
タヒバリ	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1
ヒヨドリ	—	—	—	—	—	2	2	11	3	2	1	—	11
モズ	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
ツグミ	—	4	1	1	3	2	1	—	—	—	—	—	4
オオヨシキリ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
セッカ	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	—	1
シジュウカラ	—	—	—	—	—	—	—	—	6	—	—	—	6
メジロ	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	2
ホオジロ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
カワラヒワ	3	2	4	20	15	1	1	1	1	1	—	—	20
スズメ	50	80	100	30	30	30	30	30	30	20	30	50	100
ムクドリ	6	4	40	2	8	8	6	4	4	30	30	22	40
ハシボソガラス	4	2	1	1	1	2	2	2	5	3	4	8	8
ハシブトガラス	—	1	—	—	2	1	2	2	2	2	3	2	3
ドバト	6	5	8	7	11	20	14	13	16	14	12	10	20
調査回数	6	4	3	3	5	5	4	4	6	4	4	6	54
合計種数	26	26	24	21	26	28	29	23	25	25	21	21	42

註：池の拡張工事後、1995年9月より常時満水状態に変わった。
この1年間の観察種数42種は前々年36種及び前年37種より増えた。

表6 四街道市小名木調整池野鳥観察記録

1994年10月～1996年9月の2年間に見られた鳥と、その最大記録数を集計した。

No.	種名	最大記録数	観察記録、その他
1	カイツブリ	11	1996年に初めて繁殖
2	カワウ	14	1994年10月より飛来、時にはなっていない
3	ゴイサギ	19	
4	ササゴイ	1	1996年7月6日1羽飛来
5	ダイサギ	2	
6	チュウサギ	5	
7	コサギ	8	
8	アオサギ	4	
9	マガモ	2	1995年10月29日2羽飛来
10	カルガモ	42	池周辺で繁殖
11	コガモ	98	
12	ハシビロガモ	10	
13	ホシハジロ	5	1995年～1996年冬より越冬
14	キンクロハジロ	14	1995年～1996年冬より越冬
15	チョウゲンボウ	1	1995年10月30日1羽飛来
16	バン	18	1995年夏より繁殖
17	コチドリ	20	1995年～1996年冬より越冬なし
18	クサシギ	10	1995年末以降減少
19	キアシシギ	4	1995年秋以降飛来なし
20	イソシギ	1	1995年秋以降飛来なし
21	タシギ	2	毎年少数が越冬する
22	コアジサシ	2	1996年6月1～2羽飛来採食
23	キジバト	4	
24	カワセミ	3	周辺で繁殖
25	コゲラ	1	上空通過
26	ヒバリ	5	周辺で繁殖
27	ツバメ	20	周辺の建物で繁殖
28	イワツバメ	10	1995年9月17日台風通過直後10羽飛来採食
29	キセキレイ	1	
30	ハクセキレイ	18	周辺で繁殖
31	セグロセキレイ	4	周辺で繁殖
32	タヒバリ	3	
33	ヒヨドリ	11	周辺で繁殖
34	モズ	1	
35	ツグミ	4	
36	オオヨシキリ	2	1996年夏滞在したが繁殖なし
37	セッカ	1	周辺で繁殖
38	シジュウカラ	6	上空通過
39	メジロ	3	上空通過
40	ホオジロ	1	
41	カワラヒワ	40	
42	スズメ	100	調整池の周壁で毎年繁殖
43	ムクドリ	40	
44	ハシボソガラス	10	
45	ハシブトガラス	20	
1	ドバト	38	調整池近くの陸橋下で繁殖

調査期間24ヶ月、調査回数119、延種数46種

註：1995年6～9月に調整池の拡張工事が行われ、同年9月末より干潟が無くなり、殆ど常に満水という状態に変化してしまった。そのため鳥相が若干変化してきている。即ち、1995年10月頃からシギ・チドリ類が激減し、カモの種類が増え、バン、カイツブリなどが繁殖を始めた。又コアジサシも採食に飛来するようになった。